

ほたる

平成 22 年 9 月 発行
中ノ郷ふるさとづくり協議会
事務局：鳥取市覚寺 1 1 8
中ノ郷地区公民館内
Tel:0857-21-5393

中ノ郷地区納涼まつりが盛大に開催される

「ドーン、ドンドン」という打ち上げ花火を合図に、恒例の「第十六回中ノ郷地区納涼まつり」が七月三十一日（土）夕方から公民館駐車場、小学校体育館・グラウンドを会場に開催されました。

小学生による開会宣言、石原ふるさとづくり協議会会長の挨拶で開幕しました。会場には、今回初めて出店した綿菓子や恒例のおでん、アメリカンドッグ、元氣井などの食べ物コーナー九店舗が並びました。夏の風物詩である、お化け屋敷、金魚すくい、ヨーヨー釣り、そして交通



食べ物コーナーの賑わい

ヨーヨー釣りにチャレンジ



みんなで中ノ郷音頭を踊ろう！

安全クイズ、○×クイズなど、八種類の体験・クイズコーナーも準備されました。

各店舗やコーナーには長蛇の列。浴衣姿も多く見られ、人気のすごさが完売へとつながって大賑わいでした。また、中ノ郷音頭、しゃんしゃん傘踊りなどが披露され、会場をさらに盛り上げました。

最後に打ち上げ花火が夜空に華を描き、参加した住民一三〇〇人の心を癒して幕を閉じました。

(池本)

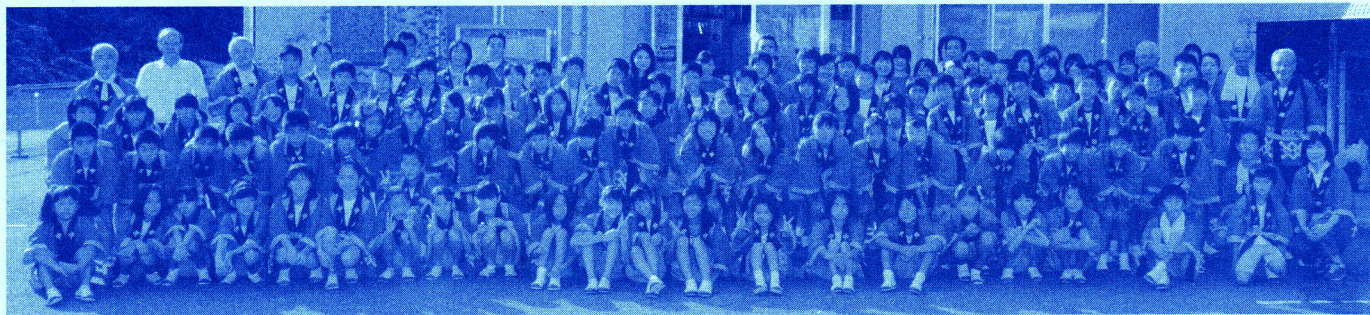
チャリティーソフトボール大会を開催



猛暑日が連続十一日目となった八月二十九日（日）午前八時より、恒例のチャリティーソフトボール大会が中ノ郷小学校グラウンドで開催されました。大会には約百人が参加し、六チームに分かれて熱戦が展開された結果、「覚寺口・山城」チームが見事優勝しました。

炎天下での試合になりましたが、けが人もなく地域の交流が深まった大会となりました。

会場では募金活動が行われ、集まった募金は『二十四時間テレビ』に寄付されました（西村）



鳥取しゃんしゃん祭に参加

一斉傘踊りで中ノ郷の心意気を示す

中ノ郷連は八月十六日(月)に鳥取しゃんしゃん祭に参加しました。

午後六時三十分パレットとつとり前からのスタートです。いきなりテレビのインタビューを受けた子が沢山いましたね。一番長くテレビに映っていた中ノ郷連の子ども達でした。

さて、今年の中ノ郷連は中ノ郷小学校の五、六年生八十八名が主役です。赤い法被の「しよから連」と青い法被の「やんちゃ連」に分かれて参加しました。七月中旬から十回の練習に耐えてきた子ども達です。が、スタートして一時間、辺りが薄墨色に染まる智頭街道に入ると、さすがに疲れの色が感じられるようになりました。何せ、例年と違う休憩の少ない一斉傘踊りです。ご家族をはじめ、みんなの掛け声を背に受けて息を吹き返した中ノ郷連は片原通りに入りました。あと十分で終わりだ！歯をくいしばり、テープを巻いた手で傘をしっかり振りながらのフィナーレ。

「よくやった！二時間半よくやった！」と感激したおじさんでした。この試練に耐えた中ノ郷っ子の未来は明るい。この先のどんな試練も乗り越えてくれるはずです。関係したみなさん！すばらしい財産を築きました。

(下澤)



しっかり前を見て踊る中ノ郷っ子

私たちの中ノ郷を知ろう④

瘡守稲荷

かさもりいなり



円護寺の中道を歩いていると「西国三番仏徳山・・・」と刻まれた小さな石柱がひっそり立っています。

その坂道を上がり、古びた山門をくぐると、そこが仏徳山円護寺です。そしてその奥にあるのが瘡守稲荷です。ここ円護寺には、湖山長者が子授け祈願し成就した折に納めたといわれる十一面観音が祀られています。

また、その子が重い皮膚病を患った時にお参りし、きれいに

治ったお礼を込めて建てたのが瘡守稲荷だと言われています。田んぼが一夜にして池になってしまった湖山長者の民話は有名ですが、円護寺や瘡守稲荷が登場するこの話も湖山長者の伝説として「鳥取伝説集」に載っています。(山中)

今後の行事予定

*中ノ郷まつり
十月三十(土)
十一月一日(日)
*ふれあい
健康ウォーキング
十一月十三日(土)

編集後記

処暑を過ぎても猛烈な残暑が続いています。この酷暑の中、恒例の二大イベント「中ノ郷地区納涼まつり」と「鳥取しゃんしゃん祭」には沢山の方々に参加をして頂きました。特に、納涼まつりには、例年になく子どもさんの参加が多かったように見受けられ、地域一体感の広がりを実感しました。

ホームページには沢山写真が載っています。http://chiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1をクリックして下さい。(市原)